

作成日	令和2年12月〇日	作成機関	△△△相談支援事業所			作成者	×××		
①利用者の情報			第一希望の登録先施設			〇〇〇			
フリガナ	きしわだ はなこ								
氏名	岸和田 花子		生年月日	昭和40年〇月△日		性別	女	年齢	55歳
住所	岸和田市〇〇町××-××					連絡先	TEL(自宅) 072-×××-××××		
手帳	身：1・2・3・4・5・6/部位： (有・無) (知) (A) B1・B2 精：1・2・3					FAX	なし		
福祉サービスの利用 (有・無) 障害支援区分 (1・2・3・4・5・(6)・なし) (種類) 生活介護 計画相談						家族構成 KEY 高血圧、82才 要介護2 東京在 55才 市内在			
収入・年金(障害 (基礎) 厚生・その他：1級) ・その他()			緊急連絡先 (優先順)						
疾病：診断名 てんかん 自立支援医療 (有) 無)：精神・育成・更生			氏名	本人との関係	住んでいる地域	連絡先			
			①	〇〇桃子	妹	岸和田市	〇〇〇-〇〇〇〇		
			②	岸和田太郎	兄	東京	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
			③	△△次郎	民生委員	岸和田市	〇〇〇-××××		
			④	〇〇桃夫	妹夫	岸和田市	080-〇〇〇〇-××××		
通院先 医療機関名：〇△病院 (脳神経外科) 主治医：●●Dr. 通院頻度：1回/3か月 服薬 (有・無) 頻度：2回/1日 /頓服 (有・無) 使用上限： /管理方法 (自己・(家族) 訪問看護)									

②緊急時に想定される相談内容

相談内容	対応
母が倒れた。本人ひとりで生活できないので、短期入所を利用したい。 (妹から連絡が入る)	あらかじめ、母が入院となれば市内に住む妹が短期入所先へ送り届けてくれることになっているため、必要な持ち物を案内し、到着を待つ。
本人より、母が倒れたと連絡が入る。 (妹に電話が繋がらない時等)	救急要請を行い、妹へ連絡し、妹に短期入所先まで送り届けてもらいよう依頼。必要な持ち物を案内し、到着を待つ。
てんかん発作が5分以上続く、意識が回復しないまま発作が繰り返されている。 (母から連絡が入る)	救急要請を促す。母が混乱している場合は、代わりに救急要請を行う。

③支援経過・現状と課題等

母の支援者（地域包括支援センター）から相談があり、日中の通所を希望して令和1年7月から計画相談、生活介護を利用。

家事全般と自宅での本人の身の回りの世話は母が担っている。本人は単語のみでの会話は可能。日中は週3日生活介護に通い、その他の日は母と一緒に買い物に出かけたり、自宅で好きなテレビを観て過ごしている。妹は数か月に一度訪問し、様子を見に来てくれている。母、高齢であり、本人の自立のために短期入所やグループホーム入居等をすすめているが、母ができる限り自分で面倒見たいとの意向である。母が入院や体調不良等の緊急時、本人ひとりでは生活困難であることが今後の課題である。